

長浜・北びわ湖大花火大会

スターメインをはじめとする多彩な花火約1万発が、夜空とびわ湖を美しく彩ります。

長浜港湾全域が有料観覧エリアとなります。特別協賛席(有料)でぜひお楽しみください。

【開催日時】8月4日(木)

19時30分～20時30分

少雨決行、荒天の場合8月5日(金)に順延

【打上場所】長浜港沖

【特別協賛席】イス席 2,500円(席が必要であれば3歳未満でも有料)

一般席 1,500円(3歳未満無料)

※全席指定(一般席はエリア指定となります)

【販売期間】8月3日(水)まで

※残席があれば当日会場で販売

【販売先】観光振興課(西館2階)、北部振興局地域振興課、長浜駅観光案内所、ローソン、セブンイレブン、JTB、ファミリーマート、サークルKサンクス

【インターネット販売】

ローソンチケット、CNプレイガイド、チケットぴあ、JTB、イープラス、ウォーカープラス

【問合せ】北びわ湖大花火大会実行委員会(☎65-6521)〈観光振興課内〉



会場周辺の道路は非常に混雑します。交通規制等にご協力をお願いします。

クリスタルプラザ展望棟から花火を観ませんか!

クリスタルプラザ展望研修棟を次のとおり夜間無料開放します。

【と き】8月4日(木)18時30分～20時30分
※荒天の場合8月5日(金)に順延

【ところ】クリスタルプラザ展望研修棟(6・7階)(八幡中山町)

【注 意】
棟内での飲食は固くお断りします。
土足厳禁のため、スリッパをお持ちください。

※事前申込みは不要

問 湖北広域行政事務センター業務課
(☎62-7143)

ボランティア募集

花火大会の準備や運営、会場清掃などにご協力いただける人をお待ちしています。

【募集日時】8月3日(水)9時～17時
8月4日(木)9時～16時
8月4日(木)16時～22時
8月5日(金)7時～16時

【申込み】電話で下記まで

※ボランティア活動保険あり

申・問 北びわ湖大花火大会実行委員会
〈観光振興課内〉
(☎65-6521)



光明本尊 絹本着色
南北朝時代末～室町時代初頭(14～15世紀初)
本紙:タテ160.8cm×ヨコ96.1cm

99)以降、本願寺勢力が隆盛しましたが、それ以前は仏光寺派が光明本尊や絵系図を用いて庶民に分かりやすく布教し勢力を拡大していました。

画面中央には、蓮台にのる九字名号(南無不可思議光如来)、その左右に同じく蓮台にのる十字(帰命尽十方無碍光如来)・六字(南無阿弥陀仏)の名号を大書きしています。名号からはそれぞれ放射状の光明を描き、その中に釈迦如来・阿弥陀如来の二尊、三国(インド3人・中国7人・日本22人)の先徳高僧、聖徳太子とそのゆかりの人物6人を描いています。阿弥陀如来の光明の功德(すべての生きとし生けるものが極楽浄土に往生)をあらわし、あわせて浄土教の正當な継承を示しています。上辺には各祖師の銘文、下辺には親鸞が撰文した尊号銘文を墨書しています。

法光寺の光明本尊は、長年の焼香による黒ずみや、絵具の剥落が進んでいます。描線や彩色の技法などにすぐれた画技を示している、南北朝時代末期から室町時代初期の作と推測されます。数少ない中世絵画として、また湖北地方の真宗史を考える上で、貴重な資料といえます。現在、観音の里資料館に寄託されていますが、法光寺門徒の50回忌法要の際にはいったん戻し、家の床の間に掛けて法要が営まれています。

7月5日(火)から東京藝術大学大学美術館で開催する「観音の里の祈りとくらし展Ⅱ」に出陳されます。

問 高月観音の里歴史民俗資料館
(☎85-2273)

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、451件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介しています。

※平成28年4月1日現在

光明本尊 1幅

指定日 平成17年3月31日指定

法光寺蔵(高月町磯野)

高月観音の里歴史民俗資料館保管

光明本尊は、親鸞が開いた浄土真宗における、初期の仏画です。画面には、名号(仏の称号)から放たれる光明の中に、釈迦・弥陀の二尊やインド・中国の高僧、聖徳太子やその侍臣、日本の先徳から各寺の開基に至るまでの像が描かれています。

現在確認される光明本尊のほとんどは、鎌倉時代の後半から室町時代にかけて制作されたもので、浄土真宗のなかでも仏光寺派の寺院に多く伝来し、その本尊や臨終仏として用いられてきました。

湖北地方では、蓮如(1415 -

